

# 第5学年1組 学級活動指導案

北九州市立青葉小学校

## 1 題材名 「トラブルを解決しよう」

### 2 題材設定の理由

#### ○ 理由

本学級の児童は、四月にクラスがえを行い、上級生として新しい人間関係を築こうとしている。しかし、右のQUの結果からわかるように、今までに積み上げてきた日々の中での人間関係のよくない部分が影響して、子どもたちが期待しているような新しい人間関係を築くことが難しい状況にある。

そこで、本題材の学習を通して、自分に合った望ましいトラブルの解決法を見付けることができる児童を育てたい。

#### ○ 題材の特徴

日常生活におけるトラブルは、ある程度避けられないものである。そのため、トラブルが起きないように避けるのではなく、トラブルが起きても自分で解決しようとするのが重要であることを、授業を通して児童に伝えるためには適した題材と考えられる。

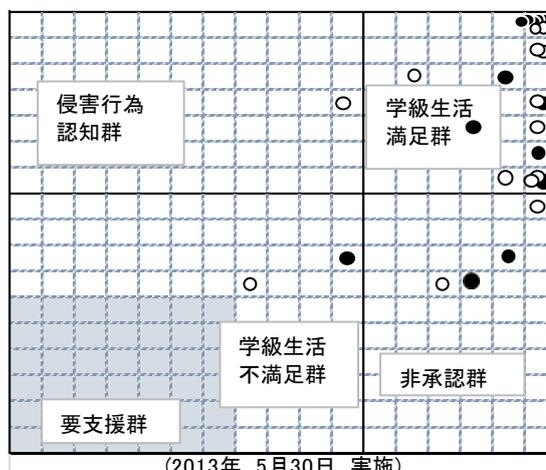
#### ○ 指導に当たって

「自分を知ろう！友達と繋がろう！」と題した掲示を教室の前面に掲げている。この掲示には、1学期は「みんなのよさを知り、楽しいクラスにしよう」、2学期は「お互いの個性を認め合い、力を合わせよう」、3学期は「心ひとつに最高のクラスを目指そう」という学期ごとの具体的な目標を記し、よりよい人間関係を築くための指針としている。

また、自分自身と自分を取り巻く友達との人間関係が円滑に進むためのよりよいコミュニケーションのあり方を図に表わしたのも掲示し、視覚的にとらえ意識できるようにしている。

さらに、ショートの時間を利用して、自分を知ることや友達と繋がることが、日常化、定着化するように、自分づくりのエクササイズ・友達づくりのエクササイズ・仲間づくりのエクササイズを行っている。また、それらの活動が足跡として積み重なっていくようにファイリングしている。

本題材の学習にあたっては、事前学習として、日常生活の中でのトラブルが起きた場面を出し合い、自分の言動の特徴に気付かせ、トラブル解決法があることを知る。本時では、具体的なトラブルの解決方法を出し合うことにより、親や教師に助けを求めてトラブルを解決するのではなく、自分でトラブルを解決しようとする意欲を高める。事後学習では、自分が実践したトラブル解決法を発表し合い、これからの豊かな人間関係の基礎を築いていけるようにする。



### 3 事前・事後の活動計画

事前	本時	事後
<p>「身の回りのトラブル」</p> <p>日常生活の中でのトラブルが起きた場面での自分の言動の特徴に気付く。また、トラブル解決法があることを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【学校生活における取り組み】</b></p> <p>トラブルが起こった際の教師の関わり方</p> <p>① 双方の子どもの気持ちをしっかり受け止める。</p> <p>② 一緒に解決方法を考える。</p> </div>	<p>「トラブルの解決法」</p> <p>友達との意見交流を通して、トラブルを解決する方法はいろいろあることを知り、その中から、社会的に受容され、自分に適した方法を見つけ、トラブルに上手に対処しようとする意欲を高める。</p>	<p>「実践！トラブル解決法」</p> <p>自分が実践してみたトラブル解決法について発表する。帰りの会などのスピーチなどでも取り上げていく。</p>

#### 4 本時の活動

(1) 日時 平成25年10月18日(金) 第5校時 於: 5年1組教室

(2) ねらい

トラブル場面の行動から、その後どうなるかを推測する活動を通して、自分たちの力でトラブルを解決しようとする意欲を高める。

(3) 準備物

場面図、「自分を知ろう!友達と繋がろう!」の絵、コミュニケーションのあり方図、ワークシート、班活動用ワークシート、マジック、振り返りカード

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意点
導入	<p>1 事前学習を想起し、本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>&lt;めあて&gt; トラブルを上手に対処する方法を考えよう。</p> </div>	<p>○事前の活動で出し合った「トラブルがあつて困ったこと」や「トラブル後に仲よくなった経験」を想起させる。</p> <p>○「コミュニケーションのあり方図」を提示し、自分の思いを表現し、相手の思いも受け止めることを確認させる。</p>
展開	<p>2 休み時間に喧嘩になった場面図を見て、このトラブルを解決する方法を話し合う。</p> <p>(1) どんな場面かを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>1ちよつと待て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちを落ちつけよう</li> </ul> <p>2よく考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうすればうまくいくか たくさんの方法を考えよう</li> </ul> <p>3やってみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一番よいと思う方法をやってみよう</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; flex-grow: 1;"> <p>トラブル解決のポイント</p> <p style="text-align: center;">こころの信号機</p> </div> </div> </div> <p>(2) 自分の考えた方法をワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出た方法の中で、やってはいけない方法はないかを確認する。</li> </ul> <p>(3) 班で、考えた方法を確認し、その方法をとった場合にどうなるかを推測する。</p>	<p>○どんな問題があるかを考えることにより、課題を焦点化する。</p> <p>・考える視点として「こころの信号機」を提示する</p> <p>○今まで自分がとってきた行動やこうすればよいという方法を書くことを伝える。</p> <p>○相手の気持ちを考えない方法や自分を傷つける方法はよくないことを確かめる。</p> <p>○解決方法は1つではないことを確認する。</p> <p>○子どもたちの考えをまとめる中から、トラブル解決のポイントを引き出す。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【予想する子どもの反応】</p> <p>○我慢する→その場は収まる・気持ちはもやもや→ストレスがたまる→気持ちが爆発する</p> <p>○じゃんけんで決める→同じ子ばかりが使う可能性もある→使えない子の不満が募る</p> <p>○男女で使う日を分ける→男子と女子で別々に遊ぶことになる→男女仲の悪いクラスになる</p> <p>○早い者勝ち→あわててとりにいきろうかを走る→けがをする</p> <p>○一緒に遊ぶ→したい遊びが違う・みんなが仲よくなる・遊びたい友達が違う</p> </div>	<p>○それぞれの解決法の結果を推測し、よりよいトラブル解決法を選択し実践していくことが大切だということに気付かせる。</p>
まとめ	<p>3 本時の学習を振り返る。</p>	<p>○振り返りカードに感想を書くことで、トラブルを自分で解決しようとする意欲を高める。</p>